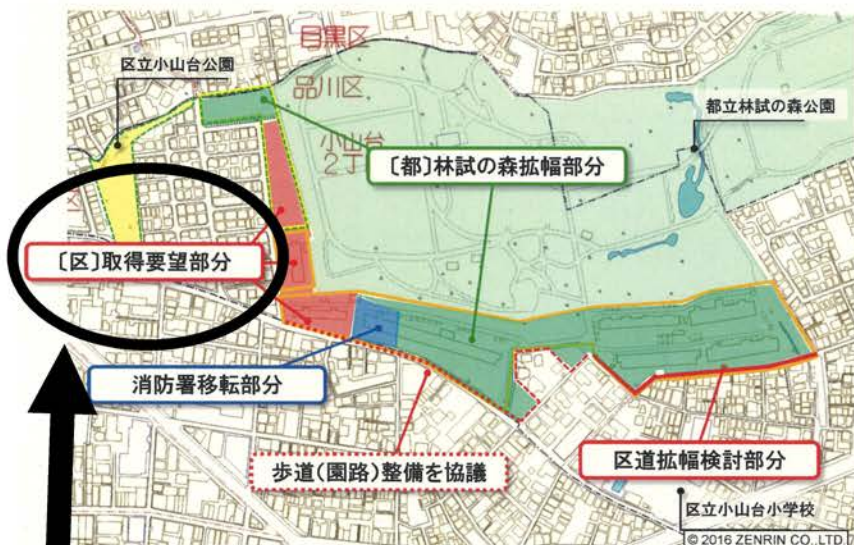


# りょう なかつか亮



# 林試の森隣の国・都有地（5000㎡）購入し 区内13カ所目の 特養ホームが実現



ここにできます！

**土地取得とあわせ、活用計画が発表**  
小山台2丁目にある林試の森隣の国家公務員宿舍跡地と都有地について、品川区への売却方向が示され、品川区より特養ホーム（地域密着型・小規模）の建設が発表されました。場所は目黒区との区境と大井や西大井からは遠い距離ではありませんが区内13カ所目の特養ホームが実現です。

今後の予定は来年度以降に、国・都からの土地取得が進められ、建設工事は、その先なので完成は数年先となりますが、新たな特養増設は大きな前進です。特養ホームの整備数は「作らない」との区の方針を変えさせ、建設再開の2011年以降でカウントすると八潮81人分、杜小29人分、平塚橋100人分、上大崎102人分、南大井81人分（来年完成）に続く6カ所目の増設となります。

## 特養の建設再開 住民署名と共産党 の共同が力に

かつて品川区は「特養ホームの整備は終了した」と建設中止を宣言し、利用料が高い有料老人ホームの建設を進めていきました。

住民からは「有料老人ホームは月数十万円もかかり、とても利用はできない。なぜ品川区は税金を使って、そんなに高額な施設をつくるのか。行政なら国民年金でも入れる特養ホームを整備して欲しい」と声が広がり、特養ホームの増設を求める住民運動が大きく広がりました。

特養増設を求める署名は2003年以来、34回にのぼり、区議会に提出されました。

ところが区議会では、

住民が一生懸命に集めた署名に対して、自民党や公明党などが反対し否決としました。

住民の願いに背を向けるとは許せません。

これに対し共産党は「品川区が作るべきは国民年金でも入れる特養ホームこそ」と住民と共に繰り返し議会で取り上げ、ついに区の方針を変えさせ特養ホームの建設が再開。今回の6カ所目へと繋がったのです。

### 身近な所に特養を

現在、特養ホームの入所を待っている高齢者の500名もいます。

さらなる増設実現へ、

ニコン大井製作所跡の購入など、身近な所の土地確保と増設計画の実現へ、力を注ぎます。

## 大井町・阪急ホテル前の公衆トイレ このようなデザインが採用されました



老朽化（左上）し、改修が待たれている大井町駅前の公衆トイレについて、品川区が若手建築家に様々なトイレの形についてアイデアを募集し、227件の応募があり、設計コンペの結果、右上のデザインが最優秀賞に選ばれました。

今後、具体的な設計が進められ、来年度に改修工事が進められる予定です。

### 次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

12月14日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所  
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください。  
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅  
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配付して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。